

一出題の意図一 <基礎学力>

英語

問題は、長文読解と対話文、文法の3種類で構成されています。難易度は高校中程度（英検準2級程度）の基礎的な問題です。長文読解問題では、日常的话题について書かれた英字新聞などの比較的平易な英文を読んで、内容を正しく理解し、必要な発信ができるかを見ます。発音・アクセント問題や適語・適文補充問題、語句整序問題、内容判断問題などの総合問題形式で出題しています。対話文問題では、日常のどこにでもあるような会話を題材に、いろいろな設問を通じて会話の流れや発話者の意図を正しく理解し、適切に対応する力を見ています。文法問題はオーソドックスな出題形式ですが、文法や語法を正しく理解しているかどうかを見ています。いずれの問題も全文和訳や、語句の丸暗記というような学習方法ではなく、内容の読み取りを優先した学習を重ねることが対策となります。

数学

出題範囲は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aである。この範囲において、基本事項及び基礎的な応用力を修得出来ているか否かを見るための出題内容となっている。

難易度は、教科書の例題・練習問題レベルである。これらの問題を繰り返し解き、解法を丸暗記することではなく真に理解しておくことが肝要である。

また、解答方法はマークセンス方式となっているので、過去問題等で解答形式に慣れておく必要もある。

国語

比較的読みやすい評論や随筆から出題されます。分野は、「生活」「社会」「歴史」「教育」「経済」「文化」「科学」「言語」などの幅広いテーマが取り上げられます。いずれの問題も文章の趣旨の読み取りはもちろん、文中の漢字や熟語の読み書き、言い回しや慣用句の意味などが問われます。試験では、ある程度分量のある文章を、限られた時間で読み解かなければいけません。また、読解に必要な範囲で、日常的に使われる常用漢字外を含む語彙を出題する場合があります。文章の構成や趣旨・主題をすばやく的確に把握するためにも、日ごろからさまざまな文章に触れ、基礎的な国語力を養っておきましょう。